



令和2年1月8日

No. 53

文責 校長 飯久保一男

新しい年もよろしくお祈りします



あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお祈りします。
大明小学校の子どもたちと、
子どもたちに関わる全ての方々にとって、
本年が素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。

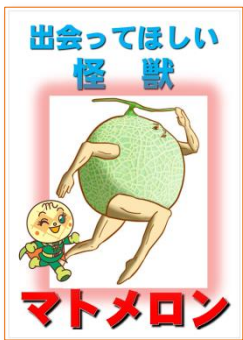


3学期始業式での校長の話の概要です。

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

3学期が始まりました。3学期は、学年によって少し違いますが、学校に来る日は50日ほどです。短い学期になりますので、これまで以上に、1日1日を大切にしてほしいと思います。

どの学年の人にもがんばってほしい学期ですが、特に、6年生と5年生にとっては大切な学期になると思っています。6年生は、卒業へ向けて、小学校でのすべての生活のしめくくりの学期です。卒業式への取り組みはすでに始まっていると思いますが、卒業式が素晴らしい最後の授業となるよう期待をしています。5年生は、6年生からバトンを引き継いで、最高学年となるための最後の準備期間になります。5・6年生のがんばりをたくさん見せてもらいたいと思っています。



さて、今回も怪獣を紹介します。令和2年最初の怪獣は、出会うほしい怪獣【マトメロン】です。1年生のうちに身につける力は、1年生のうちに身につけてほしいと思います。2年生のうちに身につける力は、2年生のうちに、3年生のうちに身につけるべき力は、3年生のうちに、同じく4年生のうちに身につけるべき力は、4年生のうちに身につけてほしいと思います。もちろん、5・6年生も同じです。学習のまとめ、生活や活動のまとめをしっかりと、一つ上の学年へと進んでほしいと思います。急にはできません。1日1日、1時間1時間の積み重ねが大切です。



次に紹介するのは、【ウィルス戦隊インフルエンジャー】です。これは出会うほしくない怪獣です。何度も言いますが、1日1日が大切です。インフルエンザにかかると1週間近く学校を休まなければなりません。短い3学期をなるべく休まずに学校に来られるように、うがい・手洗い、そして、早寝・早起き・朝ごはんに取り組んで、この怪獣に出会わないようにしてほしいと思います。

2学期までに身につけた力を、3学期にさらに伸ばすことができる、素晴らしい学期にしましょう。そして、今年1年が皆さんにとって素晴らしい1年になるようにしましょう。素晴らしい3学期、素晴らしい1年にするのは、誰の力をするのでしょうか。そうです。まず、自分の力でがんばることです。

雪が降りました。朝起きて窓の外を見ると、外は真っ白、40cmぐらいの雪が積もっています。ああ、この雪道を通勤するのかと、少し憂鬱な気分で家を出ました。すると思った通り、道はつるつる、車も列を作ってノロノロと動いています。

「えっ、あぶないな。」

そんな時、一つの光景が目に飛び込んできました。

歩道に積もった雪を避けているのですが、小学生の集団が、車道を歩いているのです。



横を通る車も、恐る恐るスピードを緩めながら通り過ぎている様子が伝わってきました。

わたしは、反対車線を通っていたのですが、

「気持ちは分かるけど、ちょっと考えて歩いたほうがいいんじゃないかな。」

と、通勤の遅れのイライラも加わって、

その小学生の集団の様子に少し憤慨しながら、その場を通り過ぎました。

そして、その日の夕方

仕事からの帰り道、朝のそんな光景もすっかり忘れて、車を運転していたときのことで。

一人の男の人が、歩道で何かしています。よく見ると、スコップを持って、雪をかいているようです。その時、ハッと気づきました。その場所は、今朝、小学生の集団が、車道を歩いていた道なのです。きっと、その男の人、今朝、その光景を見たのでしょう。しかし、それを冷たく見るのではなく、この人は、「この小学生たちのために何とかしなければ…」と考えたのでしょう。

よく見ると、雪の歩道に、一本の道が、延々と続いています。

この道を作るために、この人は、何時間、雪をかき続けたのでしょうか。

寒い北風の吹く冬の夕暮れの中で、何を考えながら、雪をかき続けたのでしょうか。

明日の朝、驚きの表情を浮かべながら、笑顔でこの一本の道を通るであろう

小学生の子どもたちを思い浮かべた時、何か胸が熱くなるものを感じ、バックミラーに映る、真っ赤な顔で汗をかきながら雪をかく男の人を、私は見えなくなるまで見続けました。

「子どもに伝えたい『心に響くちょっといい話』より

